

2026 年度入学試験問題（1－31） 1 限

数学（工・薬）、国語

注 意 事 項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) 出題科目、ページ、および選択方法は、次表のとおりです。なお、国語の問題は、問題冊子の裏から見るようにページ建てされています。

科 目	ページ	選 択 方 法
数学(工・薬)	A 1 ～ A 5	選択解答できる科目および選択方法は、志望学科によって異なります。配付されている「受験生への注意」に従い、間違いのないようにしてください。
国 語	B 1 ～ B 29	

- (3) デザイン工学部・薬学部受験者は、数学(工・薬)または国語から選択できます。
デザイン工学部・薬学部以外の受験者は国語のみ選択可能です。
- (4) 数学(工・薬)受験者は、はじめに A 1 ページの「解答方法について」をよく読みなさい。
- (5) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- (6) 解答用紙は、すべてマーク式解答用紙になっています。
- (7) マーク式解答用紙は、数学(工・薬)と国語共通の様式です。
- (8) 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

- ① 解答科目欄（記入欄は表と裏の 2 箇所あります。）
- ② 志望学科欄（記入欄はありません。マークのみしなさい。）
- ③ 氏名欄（マーク欄はありません。記入のみしなさい。）
- ④ 受験番号欄

- (9) 解答は、解答欄にマークしなさい。

例えば、10 と表示のある問いに対して、②と解答する場合は、次の（例）のように解答番号 10 の解答欄の②にマークしなさい。

（例）

解答 番号	解 答 欄
10	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- (10) 試験時間中に退室する場合は、監督者に手を挙げて知らせなさい。

数 学 (1 - 31 工・薬)

(解答番号 1 ~ 76)

解答方法について

- (1) 数値で答える解答は、次の例のように解答欄をマークしなさい.

(例)

878889 の解答が 563 のとき,

解答番号 87 の 5, 88 の 6, 89 の 3 をマークします.

- (2) 解答が分数の場合は、既約分数で答えなさい.
- (3) 解答が比の場合は、最も簡単な整数の比で答えなさい.
- (4) 解答が根号を含む場合は、根号の中の数値を最小の自然数で答えなさい.
- (5) 解答が対数を含む場合は、底および真数を最小の自然数で答えなさい.
- (6) 第 1 問は 1 ~ 23, 第 2 問は 31 ~ 57, 第 3 問は 61 ~ 76 の解答欄をマークしなさい.

第1問 (解答番号 1 ～ 23)

問1 $x = \frac{2+\sqrt{3}}{2-\sqrt{3}}, y = \frac{2-\sqrt{3}}{2+\sqrt{3}}$ のとき,

(1) $x+y =$ 12 である.

(2) $x-y =$ 3 $\sqrt{$ 4 $}$ である.

(3) $x^4 - y^4 =$ 56789 $\sqrt{$ 10 $}$ である.

問2 関数 $y = \left(\frac{1}{3}\right)^{2x} - 6\left(\frac{1}{3}\right)^x + 8$ ($-2 \leq x \leq 1$) について,

(1) $t = \left(\frac{1}{3}\right)^x$ とおくと, t のとりうる値の範囲は,

$\frac{1}{$ 11 $\leq t \leq$ 12 である.

(2) 関数 y は, $x = -$ 13 のとき, 最大値 1415 をとり,

$x = -$ 16 のとき, 最小値 $-$ 17 をとる.

問3 $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき, $\cos 2\theta - \sqrt{3} \cos \theta - 2 \cos \theta + \sqrt{3} + 1 = 0$ の方程式を

解くと, $\theta =$ 18 $,$ $\frac{$ 19 $}{$ 20 $\pi,$ $\frac{$ 2122 $}{$ 23 π である.

第2問 (解答番号 31 ～ 57)

$\triangle ABC$ において, $AB = 2$, $BC = \sqrt{2}$, $CA = \sqrt{2}$ とする. 辺 AB の中点を D_1 , 辺 BC の中点を E_1 とし, 線分 D_1B の中点を D_2 , 線分 BE_1 の中点を E_2 とする. 以下同様に, 線分 D_nB の中点を D_{n+1} , 線分 BE_n の中点を E_{n+1} とする. ただし, n は自然数とする.

(1) $\angle ACB = \frac{\boxed{31}\boxed{32}}{}^\circ$ であり, $\triangle ACD_1$ の面積は $\frac{\boxed{33}}{\boxed{34}}$ である.

(2) $\triangle D_n E_n D_{n+1}$ の面積を a_n とすると, $a_1 = \frac{\boxed{35}}{\boxed{36}}$ であり,

$$a_{n+1} = \frac{\boxed{37}}{\boxed{38}} a_n \text{ と表されるので,}$$

$$a_n = \frac{\boxed{39}}{\boxed{40}} \left(\frac{\boxed{41}}{\boxed{42}} \right)^n \text{ である.}$$

また, 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とすると,

$$S_n = \frac{\boxed{43}}{\boxed{44}} \left\{ \boxed{45} - \left(\frac{\boxed{46}}{\boxed{47}} \right)^n \right\} \text{ と表される.}$$

(3) $\triangle D_n E_n D_{n+1}$ の内接円を O_n とし, O_n の半径を r_n とすると,

$$r_1 = \frac{\boxed{48} - \sqrt{\boxed{49}}}{\boxed{50}} \text{ であり,}$$

$$r_n = \left(\frac{\boxed{51}}{} - \frac{\sqrt{\boxed{52}}}{\boxed{53}} \right) \left(\frac{\boxed{54}}{\boxed{55}} \right)^n \text{ である.}$$

- (4) $\triangle ABC$ の外接円の半径を R とすると, $R = \boxed{56}$ であり,
 線分 CD_1 の延長上の直線と $\triangle ABC$ の外接円との交点を F とすると,
 $\overrightarrow{FB} \cdot \overrightarrow{FC} = \boxed{57}$ である.

第3問 (解答番号 61 ～ 76)

座標平面において、原点を O とし、曲線 $C: y = x^3 - 6x^2 + 9x + 1$ とする. C と y 軸との交点を点 P とし、点 P と C 上の点 $Q(2, 3)$ を通る直線を l_1 とする. また、 C と l_1 との交点のうち、点 P と点 Q 以外の点を、点 R とする. さらに、原点 O と点 R を通る直線を l_2 、点 R における C の接線を l_3 とし、 l_3 と y 軸との交点を点 W とする.

- (1) $P(0, \text{ 61 })$, $R(\text{ 62 }, \text{ 63 })$ であり,

$$l_1: y = x + \text{ 64 }, \quad l_2: y = \frac{\text{ 65 }}{\text{ 66 }} x,$$

$$l_3: y = \text{ 67 } x - \text{ 68 69 } \text{ である.}$$

- (2) C と l_1 とで囲まれる図形の面積の総和を S とすると、 $S = \text{ 70 }$ である.

- (3) C , y 軸, $y = 5$ で囲まれる図形の面積を T とすると,

$$T = \frac{\text{ 71 }}{\text{ 72 }} \text{ である.}$$

- (4) $\triangle ORW$ の面積を U とすると、 $U = \text{ 73 74 }$ であり,

$$\angle RWO = \theta \text{ とすると, } \tan \theta = \frac{\text{ 75 }}{\text{ 76 }} \text{ である.}$$

国語 (1-31)

注意事項

第2問は甲と乙とに分かれています。甲は文学部日本語日本文化学科以外の志望者用、乙は文学部日本語日本文化学科志望者用です。必ず志望する学科用の問題を解答しなさい。(解答番号は、甲を選択した場合 1、乙を選択した場合 1)

24

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～8)に答えなさい。

ウイリアム・エス・クラークが島松^{注2}の駅で〔札幌農学校〕第一期生十六名との別離〔一八七七年(明治十)四月十六日〕に際して残された言葉とされる“Boys be ambitious”^(ア)についてのコウショウ^(イ)はおびただしいものがあり、それが未だに謎に包まれた側面が残っていることを示している。

北大のケンガク^{注3}の精神として広く知れ渡ったこの言葉の一次史料が大島正健^{注4}の回想だけであることに不審の念を抱く人々が現われたのも当然の事でもある。少くもあの島松の別離の場には一期生十六名が居合せたし、ホイラー、ペンハロー、調所校長、堀誠太郎、その他職員を加え、有名な札幌における開拓使旧本陣前の馬を連ねた出発の時の写真を見ても、クラーク博士の他に総勢二十六名もいるのに長い間大島正健以外当日のクラーク博士の言葉を目にふれる記録に残した人がいなかった。同行したホイラーもこの日のことを母親にあてた手紙に一言もそのようなことを触れていないとなると、最も疑い深い人はこれは大島正健^(ウ)氏のフィクションではないかと想像を走らせることともなろう。この説はクラークにまつわる偶像破壊運動ともキョウシン^(ウ)してある程度流布された。

しかし、一人でもそれを自分の耳で聞いたと証言する者がいる限り、少くもそれを否定する有力な根拠が現れなければそれを

覆えすことはできない。その人間が虚言癖があり信用できないからというなら、その事実を立証する必要があり、又何の必要があつてそのようなフィクションを創作したのかをも説明せねば仮説としても無責任である。【A】

本書〔大島正健『クラーク先生とその弟子たち』〕に引用してある青年奮起立功名の七言絶句は恩師を送った即吟であると記されてあるが、残念ながら作詩の日付がない。ただ間接的な推定となるが、祖父の遺品の中にこの詩を書き下した原本とその直前〔三月〕に母の訃を哭して書いた詩とが同じ包みにたばねてあつた。紙はどちらも同じような古さであり、両方とも後年に憶い出して作詩したとは思えない。

それなら十六名の一期生のうち大島正健のほかに記録を残した人は本当にいないのであろうか。他に聞いた人がいないのではなく、探し方が足りないのではなからうか。【B】

あの四十数年札幌農学校と北大に君臨した二期生でその場にいた佐藤昌介は不思議なことに自分の耳でこの言葉を確かに聞いたと力強く証言したことがないが、昭和九（一九三四）年六月十五日に自ら書いた「ウィリアム・エス・クラーク先生を語る」の中に「別れに臨んで我等学生を顧み青年よ大志を抱けとの訓言は先生去つて五十七年に及ぶも尚ほ生きたる教訓となり」と他人事のように短かく触れているところを見ると、聞いたことは確かであらう。

中途で挫折し卒業の栄を勝ち得なかつた小野琢磨の半世の回顧録（昭和五（一九三〇）年七月非売品、北大北方史料室に保存されている。）はもう少し生き生きとしている。

「訣別に臨みクラーク氏は眼に涙を湛え、『青年らよ、余は日本に來り汝らを基督に導きしことは余が終生の喜びならん』更に声を励まして『汝ら大望を抱け、決して小成に安んず勿れ』と云ひ終りて直ちに馬に跨り一鞭を加えて疾駆して去れり」これによれば細部の描写は異なるが小野も確実に聞いている。

さて一期生のリーダーであつた伊藤一隆はどうであらう。

伊藤一隆に関する記録は比較的多いのに、この島松別離を語つたものは不思議に見つからなかつた。

北大北方史料室の保存史料を根気良く探しているうちに遂に北大創基五十年（一九二六年）に際して行つた伊藤一隆の記念講

演の自筆の草稿が発見された。それには次のようにあった。

「先生は別れに臨み馬のくつわをとり、吾々に対し、Boys, Be Ambitious と叫ばれた。『青年よ須らく志を大にせよ』この離別の一語は凛^{りん}として耳底に遺っています」

伊藤一隆は間違いなく聞いたのである。

大島正健の「クラーク先生の憶い出」には先生は馬上から片手に手綱、残る手に鞭をとり、学生達を振り返りながら云われたとあるのに、伊藤の記憶には馬のくつわをとりながら云われたとある。⁽¹⁾この微妙な違いは却って伊藤一隆の記憶が大島正健の証言に影響されていないことを示すものといえよう。

以上一期生中四名がこの事実を証言している事が判明した以上

I

は成りたたない。

次にクラーク先生の云われた言葉そのものに関してもそれだけが研究の対象となり得る程多くの疑義が提出されてきた。

しかし今やその原型は「Boys, be ambitious like this old man」であったことはほぼ疑いない。

一九七二年の学生会月報七一五号に高倉新一郎氏が「クラークの教訓」を寄稿され、その中に明治二十七（一八九四）年の札幌農学校学芸会の雑誌『蕙林』に安東幾三郎がクラークの別れの言葉をこのように記しているのを最古の文献として紹介された。

秋月俊幸氏の「校友会誌から見た札幌農学校の校風論」（北大百年史通説所載）には更に詳細にこの言葉は明治二十五（一八九二）年九月、札幌農学校予科主任であった大島正健が「我が先師ウィリアム・クラーク氏」と題し「慷慨熱心なる語調で」講演したのに、当時予科生であった安東が啓発され、さらに札幌にいた一期生数人の談話を得てまとめて校友会誌に六回にわたり「ウィリアム・エス・クラーク」を連載した中で、クラークの別離の言葉を“Boys, be ambitious like this old man”としてある。勿論これは大島正健の述べたものの再録であるが、当時札幌にいた一期生の伊藤一隆、佐藤昌介、内田瀬^{きよし}もこれに異議を称えなかったところを見ると事実であろうと思われる。

より直接的な証拠は後年大島正健自身が、『ジャパン・クリスチャン・インテリジェンサー』に掲載した英文のクラーク先生の憶い出の中にクラーク先生が別離に際し馬上で発せられた言葉を“Boys be ambitious like this old man”といわれたと書いた。

ていることである。

当時五十三歳のクラークは米国流に言えばすでに old man でありながら、札幌の八ヶ月はまさに覇氣満々、永遠の青年の如くに理想を抱いて活躍してみせたのであるから、此の老人のようには二重の重い意味があろう。老境の自分ですら大志を抱いてかくやったのだから、ましてや君達青年はもっと ambitious であれ、とくるなら、迫力もあり、説得力もある。

【C】

このもとの言葉から終りの old man が脱落するのは伝承が形成される過程で充分あり得ることである。後半が脱落した、歯切れの良い短い三語となることにより、この言葉はより広くひろがるようになったともいえよう。

不思議なことに明治二十五（一八九二）年以前の札幌農学校の現存する記録の中には現在これ程有名になっている“Boys, be ambitious”の語が全く見当たらない。それに反し、学校当局の耶蘇教に対する嫌悪・警戒・排除の姿勢が目立っている（北大百年史札幌農学校史料（一）二八五・二九六・六二〇）。

「母校の危機」〔大島正健『クラーク先生とその弟子たち』（二二九頁以下）にも触れてある通り、明治十八（一八八五）年に伊藤博文の懐刀金子堅太郎が札幌農学校を「学理高尚に過ぎ、開墾の実技に暗く尤も北海道に適セザルモノ」と北海道三県巡視復命書の中に批判したことは、農学校廃止の噂を呼び、学校当局は危機感をつのらせた。この背景には明治政府の統制の域外にあって米国のカレッジ方式をとり、高度の人文・教養教育を施し、あまつさえ耶蘇教が生徒にひろまるを容認した札幌農学校教育に対する明治政府の嫌悪感がある。農学校は二者択一の前にたたされた。創立の理想を堅持して廃校のリスクをおかすか、政府の意を迎えて存続をはかるかで、勿論

Ⅱ が選択された。それはクラーク離れ、マサチューセッツ離れを意味し、同時にアメリカの影響を払拭し、ドイツ型の技術者養成の専学単芸型の教育機関に転身し、もって国家の要請にこたえる人材を養成し、ひいては北海道帝国大学に昇格してゆく路線を選択したことであった。学校の中にはや“Boys be ambitious”の声の上る余地のない変身であった。そのヘゲモニーを握ったのが校長心得より校長ついで北大総長となってゆく同級生佐藤昌介であった。

【D】

佐藤に代表される学校当局にとってこのような趨勢の下に大島正健が札幌農学校教授でありながらも札幌独立教会の牧師で

あることは甚だ困惑することであつたにちがいない。

佐藤昌介は明治二十四（一八九一）年校長心得となるや、大島正健に陰に陽に、牧師をやめるか、教授をやめるかの選択を迫る圧力をかけ、祖父は結局その両者を選択して札幌を去るのである。独立教会への牧師辞任願は明治二十五（一八九二）年四月に出されている。

たまたまこのころ予科生が自発的に学芸会をつくり、祖父が講演を依頼された際、この機会に熱情をこめて創立の精神たるクラークの教育の神髄を学生達に伝え、消えゆくものを残してゆこうとした。その演説が二十五（一八九二）年九月で、周囲の状況からみてその頃教授辞任も決意していたと思われる。

一方今残る公文書綴りを見ると「墓参のため往復三十日帰省願ひ」が明治二十六（一八九三）年九月二十九日付で佐藤昌介宛に大島正健より出されているが、これは本人の筆蹟ではない。十月二十三日に祖父の依頼免官辞令はあつても辞職願は見当らなかった。

そして佐藤昌介伝のこのくだりは「この頃財政緊縮のため教授の俸給一級減の処置をとつたところ東京出のある教授（大島正健以外にない）が東京に帰つた」と冷く突き放している点解せぬものが残る。

【E】

ともに札幌農学校に教鞭をとつたクラーク先生の弟子達も、広井勇は明治二十八（一八九五）年に新渡戸稲造は三十（一八九七）年に次々と札幌農学校を離れていった。佐藤昌介がキリスト信徒でありながら札幌^{注8}バンドに加わることなく微妙な立場にあつたのはこのような事情もからんでいた。

一方札幌農学校は佐藤昌介校長の東奔西走の努力の甲斐あつて、祖父の辞任直後明治二十六（一八九三）年十一月十日に文部省の直轄学校となる勅令が公布され（文部大臣井上毅^{こわし}より国立移管の条件として教授定員の削限を迫られ、佐藤は祖父の退職を急ぐ必要があつた）、三十二（一八九九）年には待望の官制を獲得し、外人教師を廃止し、規模を拡大しながら北海道帝国大学に昇格してゆく道が開け、広大な現北大キャンパスへの移転のメドもついてきた。明治三十四（一九〇一）年、創立二十五周年を迎え、十五年前は金子堅太郎の農学校批判に震え上つて創立十周年も祝えなかつたのが今や大々的に式典を挙行し、演武場二

階には黒田〔清隆〕とクラークの大きな写真と、赤い大きい字で“Boys, be ambitious”が掲げられ、クラークは復活したかの如く見えた。アそれはもう潰れる心配のない巨大な国立学校に飾られるシンボルとしてであり、再び昔の熱気が甦ることはなかった。

一方この言葉が再び甦り青年達の心を掴んだのは、札幌ではなく明治三十四（一九〇一）年より大正三（一九一四）年まで大島正健の校長をしていた甲府中学においてであった。この時に祖父の薫陶を受けた生徒たちはこの言葉を胸に、山峡を出て日本の各界の指導者となり、特に石橋湛山はジャーナリストとして又政治家として身をもってこの言葉を世に広めたのである。

この言葉にもともと長い説明文がついていたのだとする説は秋月氏が論攷（前述）の註で指摘されたように、一九一五年のサンフランシスコ万博で配った「北大略史」に当時予科の英語教師ローランド氏がクラークの言葉に説明を加えて書いたものがその後そのままクラークの言葉と誤引されたことによる。

このクラークの残した別離の言葉が現代にあわず、意味を失っているとの批評があるように聞いている。しかしそれは時代精神の問題であり、アメリカンマインドを喪失した現代アメリカ文化と、その亜流の日本の知識人、学生諸君がこの言葉を冷笑することによって、神を恐れぬ現代知性の

Ⅲ

さが却って問われているのでなければ幸である。

（大島智夫「島松の別離——Boys be ambitious」を誰が聞き、どのように広まったか」

〔大島正健著、大島正満・大島智夫補訂『クラーク先生とその弟子たち』所収〕による）

注1 ウィリアム・エス・クラーク（一八二六～一八八六）米国の科学者、教育家。アマースト農業大学の初代学長（一八六七～一八七八）。一八七六～一八七七年、札幌農学校（北海道大学の前身）教頭として滞日。そのキリスト教精神は内村鑑三や新渡戸稲造らに影響を与えた。「少年よ大志を抱け」が有名。

注2 島松 北海道南西部、今日の恵庭市東部。

注3 北大 北海道大学のこと。

注4 大島正健（一八五九～一九三八） 明治～昭和時代前期の言語学者。札幌農学校第一期生。中国古韻学の研究で知られ、『韻鏡音韻考』『支那古韻史』などを著した。筆者である大島智夫の祖父にあたる。

注5 佐藤昌介（一八五六～一九三九） 北海道帝国大学初代総長、農政経済学者。札幌農学校第一期生。

注6 「クラーク先生の憶い出」 一九二六年（大正十五）に発表された大島正健の英文エッセイを、正健の孫智夫が日本語に翻訳したもの。

注7 札幌独立教会 一八八一年（明治十四）に札幌農学校卒業生たちが、教会ケンセツを計画し、一八八二年（明治十五）にどの教団・会派にも所属しない札幌基督教会を設立したのが始まり。一九〇〇年（明治三十三）に改称。

注8 札幌バンド 一八七七年（明治十）クラークの感化により、「イエスを信ずる者の契約」に署名した札幌農学校第一・二期生らのキリスト者集団。横浜バンド・熊本バンドと並んで日本のプロテスタント・キリスト教の三大源流の一つとされる。

注9 黒田清隆（一八四〇～一九〇〇） 明治の政治家。一八七五年（明治八）、開拓長官となり北海道開発に尽力。一八七六年（明治九）アメリカからクラークを招聘して札幌農学校を開校。教育の全権をクラークに委ね、短期間にその手腕を十分に発揮させた。

問1

傍線部(ア)～(ウ)に相当する漢字を含むものを、次の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。(解答番号は

- (ア) 1、(イ) 2、(ウ) 3

(ア) コウショウ

- ① 選挙結果をコウヒョウする
② 価格についてコウショウする
③ 最大のコウカを発揮する
④ 文化的背景をコウサツする

(イ) ケンガク

- ① お小遣いをケンヤクする
② 工場をケンガクする
③ ビルをケンセツする
④ 土台をケンゴにする

(ウ) キョウシン

- ① バッターをサンシンに打ち取った
② 準決勝シンシュツを果たした
③ キョウソウシンに火が付いた
④ シンキョウの自由を保障する

問2

次の文は、本文中の A) E の箇所どこかに挿入されます。もつとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 4)

クラークの札幌農学校の教育の精神はこの別離の言葉に凝集したともいえるであろう。

- ① A ② B ③ C ④ D ⑤ E

問3

傍線部(1)「この微妙な違いは却って伊藤一隆の記憶が大島正健の証言に影響されてないことを示すものといえよう。」とありますが、それは何を意味していますか。もつとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 5)

- ① 伊藤一隆は、大島正健と同期ではなかったであろうということ。
② 伊藤一隆は、大島正健の文章を盗用かつ巧妙に改変したということ。
③ 伊藤一隆は、自分の記憶に従ってそのまま書いたであろうということ。
④ 伊藤一隆の記憶力が、大島正健よりも確実に劣っていたということ。
⑤ 伊藤一隆の自筆原稿には、不自然な点が散見されるということ。

問4

空欄

I

II

III

に入る語句として、もつとも適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。(解答番号はI

6、II 7、III 8)

I ① 相互理解

② 珍説

③ 陰謀論

④ 契約

⑤ フィクション説

II ① 前者

② 後者

③ 折衷案

④ キリスト教

⑤ 創立の理想

III ① 寛容

② 崇高

③ 敬虔

④ 傲慢

⑤ スマート

問5

傍線部(2)「ヘゲモニー」の意味を説明するものとして、もつとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

(解答番号は

9

)

① 相手の利益を第一に考え、見返りを求めないこと。

② ある分野に関する知識やそれを活用する能力のこと。

③ 財産を共有することによって平等な社会を実現すること。

④ 他に先駆けて物事を始める人、すなわち先駆者や開拓者のこと。

⑤ あるグループによる他のグループへの支配・指導のこと。

問6 傍線部(3)「創立の精神たるクラークの教育の神髄を学生達に伝え、消えゆくものを残してゆこうとした。」とありますが、その背景となった出来事として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 10)

- ① もとの言葉から、終りの old man が脱落して流布してしまっていたこと。
- ② キリスト教の精神が、北海道の地から完全に失われようとしていたこと。
- ③ 第一期生が、早くも old man すなわち老境に差し掛かりつつあったこと。
- ④ クラークが教訓を書き残してくれなかったことに、危機感を覚えたこと。
- ⑤ 札幌農学校が、帝国大学に昇格する路線を選択していくこととなったこと。

問7

空欄

ア

に入れるのに、もっとも適当な語句を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

11

)

- ① むしろ
- ② すなわち
- ③ すると
- ④ それとも
- ⑤ しかし

問8

本文の内容に合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

12

)

- ① Boys be ambitious」はクラークによって確かに語られ、大島正健らがそれを後代に伝えていった。
- ② Boys be ambitious」がクラークによって本当に語られたかについて、なお検証の余地がある。
- ③ 札幌農学校が北海道帝国大学へと昇格した背景には、クラークの祈りと助言があった。
- ④ 学校の創立の精神というのは、組織が改められる時にシンボルとして掲げ直す必要がある。
- ⑤ 学校の創立の精神というのは、高度な研究という手続きを経てこそ後世に受け継がれるものである。

第2問 甲

(文学部日本語日本文化学科以外の志望者用)

次の文章を読んで、後の問い(問1～12)に答えなさい。

私たちは新しい言葉を作り、それを読んだり聞いたりします。新語を作ったり新しい比喩を作ったりもしますが、もつと^アジミな新しさに溢れています。例えば、まさに私はいま新しい言葉を書き出していますし、あなたも生まれて初めて読む言葉と出会っているわけです。「電車のチエンで会議に遅刻します」なんて文にはなんの^イ私にとって生まれて初めて書いた、「新しい」文です。そしてこのような新しさは、新しいと意識されないほど抵抗なく、すらすらと理解できるでしょう。でも、なぜでしょうか。

例えば「猫が富士山に登った」という文を考えてみましょう。こんな^Ｂない文でも、その意味するところはたちどころに理解できます。言葉は新たな意味を次々と生み出し、私たちはそれをやすやすと理解する。どうしてもそんなことができるのか。さらに言えば、文の長さには上限はありませんから、新たに生み出される意味は無限に可能です。だけど、人間には無限の文を記憶するような能力はありません。私の記憶力なんて、^１そりゃあ貧弱なものです。でも、そんな私にでも、新たな意味をもつた文を際限なく作り続けることができます。どうしてそんなことができるのでしょうか。^２

この問題を「新たな意味の産出可能性の問題」と呼びましょう。ごたいそうな名前で恐縮ですが、こうして名前をつけておいた方が話がしやすいのです。とはいえ、この問題に答えるのはそんなに難しくないように思えるかもしれません。よかったら少し考えてみてください。

新たな意味の産出可能性の問題

新たな意味をもつた文を無限に作ることができ、容易に理解することができるのはなぜか。

どう考えていいかわからないという人もいるでしょうね。ひとつのアドバイスは、具体的に考えてみる、というものです。例えば、「猫が富士山に登った」という文を考えてみましょう。生まれて初めてこの文を読んだときに、^Ｃな文だとは

思ったかもしれませんが、意味はすぐに分かった。なぜだと思います？

やっぱり、少し考えてほしいな。

さて、どうでしょう。「猫が富士山に登った」、まあ、全部知ってる単語だからね。そうそう、そんな感じです。——「猫」という語は知っている。「富士山」も分かる。「登った」ということも分かる。それらはすべて既知の語です。そこに新しさはありません。文全体は「……がうした」という型で、このような文型も目新しくはない。語の組み合わせ方は文法の知識です。逆に、知らない語が文中にあると、理解できなくなります。例えば、「キョン」という語を知らない人は、「キョンが富士山に登った」という文を読んでも意味が分かりません。（キョンというのは鹿の一種で、動物園などから逃げ出したキョンが、房総半島や伊豆大島で野生化しているらしいです。）さらには、「キョンがガレ場をトラバースした」だと、もう日本語に思えないという人もいます。それに対して、「猫が富士山に登った」は既知の語を既知の文法に従って作った文だから、初めて読んでも意味が分かる。こうして、新たな意味の産出可能性の問題に対するひとつの自然な答えが見えてきます。

語彙の知識も文法の知識も有限です。インターネットの情報によると、ふつうの日本人の知っている語彙数は三万から五万だそうです。「ふつうの日本人」ってのもよく分かりませんが、有限であることは確かです。文法の知識については微妙で、ふつうの日本人が日本語の文法をきちんと答えられるかというと、私などは動詞の活用もちゃんとさえ言えません。でも、日本語が適切に使えているのであれば、たとえ表立って文法を言えないとしても、文法の知識はもっていると云ってよいでしょう。そして文法の知識も、有限の範囲に収まります。あとは、文法に従って語彙を組み合わせれば、文の長さには上限はありませんから、いくらでも長い文が作れる。かくして、初めて出会う文が無数にできるといわけです。これが、有限の記憶容量しかもたない人間が、無限に新たな意味を作り出せる仕掛けではないでしょうか。

新たな意味をもった文を無限に作ることができ、容易に理解することができるのはなぜか。

——言語は有限の語彙と文法よりなるからだ。

新たな意味の産出可能性の問題に対する答えは、とりあえずこれでよさそうです。でも、この正しいと思われる一歩——いや、こういう言い方をすると「だけどほんとは正しくない」と続くんじゃないかと身構えられそうですが、いま踏み出したこの一歩に関しては正しいと私も思っています。でも——、この答えはごく自然にこう考えるよう私たちを誘うでしょう。文の意味を理解する前に、まず語の意味を理解しているのでなければなりません。「猫が富士山に登った」という文を理解する前に、「猫」「富士山」「登った」という語の意味を知っていなければだめだ、というわけです。これも、当然のことと思えます。だけど、このあたりから、実は怪しくなってきたのです。文の意味の理解は語の意味の理解から成り立っている。それゆえ、まず語の意味を文の意味に先立って理解していなければならない。では、語の意味とは何か。それを文の意味について論じる前に考えておかなくちやいけない。この当然とも思える考え方をひっくり返したのが、フレーゲ^注なのです。

だけど、ひっくり返すといってもどういうことなのか。語の意味も分らないのに文の意味が分かるはずもないでしょう。文の意味を理解する前に語の意味を理解しておかなければいけないというのは、あたりまえのことじゃないですか。

いや、哲学はしばしば、あたりまえがあたりまえじゃなくなったところから始まります。そして私たちはまさにそこ⁽⁶⁾にいるのです。「猫」の意味も「富士山」の意味も、私たちはよく分かっている。だから、「猫が富士山に登った」なんて文も理解できるでは、「猫」の意味は何でしょうか。こんなふうに問いを立てると、むしろ逆に尋ね返されそうです。「猫」の意味なんてもうよく分かっている。なのに、「猫」の意味は何か⁽⁷⁾なんて、どうして問わなくちやいけないのか？

哲学の面白さのひとつは、ひとが立ち止まらないところで立ち止まり、分かっていたつもりの方が分からなくなつて、そこに思ってもみなかった問題が開けることにあります。それこそが哲学の最大の面白さだと言ってもよいでしょう。だから、しばらくこの問題につきあってみてください。「猫」の意味、それは何でしょうか。

「富士山」の意味は何かと尋ねられて、「静岡県と山梨県にまたがる日本一高い山のことだ」と答えたとしみましょう。この答え方だと、少なくとも「静岡県」、「山梨県」、「日本」、「山」といった語の意味を理解している必要があります。語の意味を言葉で説明すると、こんどはその説明に使われている語の意味を説明しなければなりません。「猫」なんかだと言葉で説明するのも至難⁽⁷⁾

の業です。例えば、「体はしなやかで、鞆さやに引きこむことのできる爪、ざらざらした舌、鋭い感覚のひげ、足裏の肉球などが特徴」(『広辞苑』第七版)なんて説明しても、「「鞆」ってなに?」、「「肉球」ってなに?」と、意味を説明しなければならない語の数が増えただけという感じです。もちろん、未知の語の意味を既知の語を使って説明してもらうということは、あるでしょう。しかし、説明に使われている語の意味が再び問題になる以上、「そもそも語の意味とは何なのか」という哲学的問いに対する答えにはなっていません。

だとすれば、「富士山」の場合、現物を提示することになるでしょう。つまり、実物や映像を見せながら「富士山」と呼ばれるものを実際に指し示して、「これが「富士山」だ」と教えるわけです。実はこの場面でも考えなければいけない哲学的問題が発生するのですが、いまはこのやり方を受け入れておきましょう。「富士山」はある対象の名前である、そう考えておきます。ここで問題にしたいことはこの先にあります。

じゃあ、「猫」の意味は何なのか。

「猫」って、どういう意味?」と子どもに尋ねられたら、どう答えます? その子は日本語以外の言葉は知りません。だから「猫」は“cat”だよ」なんて答えることはできない。「猫」の意味は何か」というのは実は難しい問題なのですが、でも、その難しさを実感してもらうためにも、少し考えてみてください。(二〇秒間、途方に暮れるだけでもけっこうです。)

「猫」の場合も「富士山」の場合と同じように考えられるのではないか。この方向で進んでみましょう。あらかじめ伝えておけば、この道は行き止まりです。少なくとも、やがて袋小路に入り込んだように思えてくるでしょう。しかし、その袋小路から脱出するフレーゲの考え方を見るには、まずはその道を進んでみなければなりません。

「富士山」はある対象の名前だ。同様に、「猫」もある対象の名前なのだ。この考え方が、いま進もうとしている方向です。そこでまず、「富士山」のような語と「猫」のような語の違いを押さえておく必要があります。「富士山」のような語は「固有名」と呼ばれます。「猫」のような語はそれに対して「一般名」と呼んでおきましょう。これからだんだん言語哲学特有の用語が出

てきます。そこでつまずいてしまう初心者もいると思います。なるべく繰り返し説明しながら進めていくつもりですが、用語の意味が分からなくなったら、どうぞ巻末の索引を利用して、その用語の説明があるところを読み直してください。

まず「固有名」という用語。固有名とは、「富士山」のように、ある一つの対象の名前です。ふつうは「固有名詞」ですが、言語哲学では「固有名」と言います。なぜでしょうね。私もはっきりしたことは分かりませんが、おそらく、「同有名詞」というのは品詞分類として名詞の一種であることを表わす用語で、それに対して「固有名」は、その役割、つまりただ一つの対象を名指すという役割を表わす言葉として使われているのではないのでしょうか。

固有名が名指す一つの対象を「個体」と言います。人物ならば「個人」ですが、人間以外の動物や物の場合もありますから、「個体」と呼ばれます。

ひとこと注意。学生にレポートを書いてもらうと、たいてい五十人に一人か二人ぐらい、「固体」⁽⁸⁾と書いてきます。それで固有名の方は「個有名」と書いたりして。確かに、紛らわしいですよ。固有名の「固」は「かたい」という意味もありますが、ここでは「キジは日本の固有種だ」なんていうときの「固」で、そのものにもともと備わっているといった意味でしょうか。「個体」の「個」は個別の「個」です。これを「固体」と書きちゃいけません。

説明を続けましょう。「富士山」は富士山という個体の名前です。ですから、「富士山」という固有名の意味はあの山——富士山という個体——だと言えそうです。同様に、「伊藤博文」は伊藤博文という個体の名前ですから、「伊藤博文」という固有名の意味はあの人物、つまり伊藤博文という個体だと考えられます。

この考え方、つまり、固有名は個体の名前だという考え方を、語の意味一般に拡張すると、「語は何かある対象の名前だ」という考え方が出てきます。ここでも、用語を導入しましょう。ある語句がある対象の名前であるとき、その語句がその対象を「指示する」と言います。そして、指示されるその対象は「指示対象」と言います。固有名の場合で言えば、「富士山」は富士山という山を指示し、「伊藤博文」は伊藤博文という人物を指示します。そしてこの考え方を、固有名だけではなく、「猫」のような語にまで拡張することも自然なことと思えます。

(野矢茂樹「言語哲学がはじまる」による)

注　ゴットロープ・フレーゲ（一八四八～一九二五）　ドイツの哲学者。論理学、分析哲学、言語哲学の分野で大きな業績を残した。

問　傍線部ア・イと同じ漢字を含む熟語を、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。（解答番号はア、イ

14

- | | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|----------|
| ア | | | | |
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| ロジを散策する | 収入をイジする | チクジ報告する | 部長就任をコジする | 資料をカイジする |
-
- | | | | | |
|-----------|-----------|------------|--------------|------------|
| イ | | | | |
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 親戚とソエンになる | 親戚とゼツエンする | 大スターのキョウエン | 試合が雨でジュンエンする | アエンが不足している |

13

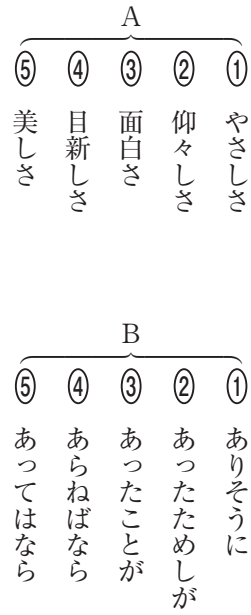
問2

空欄 A

B

に入る語句として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選

びなさい。(解答番号はA 15、B 16)



問3

傍線部(1)「そんなこと」とありますが、具体的にはどんなことでしょうか。もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 17)

- ① 限りある記憶力の限界を超えること
- ② 無限に新しい文を作り出すこと
- ③ 現実にはあり得ない内容の文を理解すること
- ④ 聞いたことがない文をたちどころに理解すること
- ⑤ 一度も聞いたことがない文を作り出すこと

問 4 傍線部(2)「ごたいそうな名前」とありますが、どういう意味でしょうか。もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 18)

- ① 大仰な名前
- ② 複雑な名前
- ③ 猛々しい名前
- ④ 聞き慣れない名前
- ⑤ 難しい名前

問 5 空欄

19

C

に入る語句として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

- ① 一目瞭然
- ② 前代未聞
- ③ 荒唐無稽
- ④ 厚顔無恥
- ⑤ 千変万化

問6

傍線部(3)「日本語に思えないという人もいそうです」とありますが、それはなぜでしょうか。もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

20

)

- ① 一見してカタカナ語が多用されているから
- ② 日本語として文法的に間違っているから
- ③ キョンという動物を見たことがある人が少ないから
- ④ 作者による造語が使われているから
- ⑤ あまり一般的ではない単語が多用されているから

問7

傍線部(4)「文法の知識については微妙で」とありますが、どういう意味でしょうか。もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

21

)

- ① 日本人でも文法の知識を持っていない人が多い
- ② 日本人であっても文法を間違っ覚えていてる人が少なくない
- ③ 日本人にとっても日本語の文法を使いこなすことは難しい
- ④ 日本人でも日本語の文法を言葉で説明することは難しい
- ⑤ 日本語の文法は他言語と比べてあいまいな部分が多い

問8

傍線部(5)「実は怪しくなってきた」とありますが、何が怪しくなっているのでしょうか。もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

22

)

- ① 私たちは文の意味を正しく理解できているということ
- ② 私たちの単語の意味理解には個人差はないということ
- ③ 私たちは語を先に理解した上で文を理解しているということ
- ④ 言語は本当に有限の語彙と文法から成り立っているということ
- ⑤ 同じ文を読んだ時に理解したものは同じと言えるということ

問9

傍線部(6)「そこ」とありますが、何を指していますか。もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

23

)

- ① 意味の分岐点
- ② 哲学の出発点
- ③ 言葉の限界点
- ④ 日常の疑問点
- ⑤ 会話の立脚点

問10 傍線部(7)「至難の業」とありますが、何が至難の業なのでしょうか。次の①～⑤の中から

一つ選びなさい。(解答番号は 24)

- ① 猫という動物のことを十分に理解すること
- ② 猫を見たことがない人に「猫」の意味を説明すること
- ③ 「猫」の意味を既知の語だけで説明すること
- ④ 猫の意味を哲学的にとらえて記述すること
- ⑤ 猫と猫以外のものを厳密に区別して説明すること

問11 傍線部(8)「固体」とありますが、これと関連の深い語はどれですか。もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から

一つ選びなさい。(解答番号は 25)

- ① 気体
- ② 敬体
- ③ 球体
- ④ 総体
- ⑤ 立体

問12

本文全体を読んで、本文の内容と一致しないものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は

26

)

① 「新たな意味の産出可能性の問題」に対する答えは、有限の語彙と文法から文が構成されることから説明できる。

② 私達が普段話している言葉の中には、特に新奇性はなくとも、初めて話す文や聞く文が含まれている。

③ 文の意味を理解するためには、その前提として当然単語の意味を理解していなければならないというのは一般的には自然な考えだと言える。

④ 富士山のような固有名は、「静岡県と山梨県にまたがる日本一高い山のことだ」のような形で意味を説明すると分かりやすい。

⑤ 「猫」のような一般名について、固有名である「富士山」と同様にある一つの対象の名前であると考え、実物を指し示して説明しようとする袋小路に入り込む。

第2問 乙

(文学部日本語日本文化学科志望者用)

次の文章は、零落した宮家の姫君・末摘花の様子を描いた場面です。これを読んで、後の問い(問1～9)に答えなさい。

わざと好ましからねど、おのづから、また急ぐことなきほどは、同じ心なる文通はしなうちしてこそ、若き人は本草につけても心を慰めたまふべけれど、親のもてかしづきたまひし御心おきてのままに、世の中をつつましきものに思して、まれにも言通ひたまふべき御あたりをもさらに馴れたまはず。⁽¹⁾古りにたる御厨子あけて、^{注1}唐守、^{注2}藐姑射の刀自、かぐや姫の物語の絵に描きたるをぞ時々まさぐりものにしたまふ。

古歌^{ふるうた}とても、をかしきやうに選り出で、題をも、よみ人をもあらはし心得たるこそ見どころもありけれ、うるはしき紙屋紙、陸奥国紙などのふくだめるに、古言^{ふることば}どもの目馴れたるなどはいとすさまじげなるを、⁽²⁾せめてながめたまふをりをりは、引きひろげたまふ。今の世の人のすめる経うち誦み、^{注4}行ひなどいふことはいと恥づかしくしたまひて、見たてまつる人もなければ、数珠^{ずず}など取り寄せたまはず。⁽³⁾かやうにうるはしくぞものしたまひける。

侍従などいひし御乳母子^{めのとこ}のみこそ、⁽⁴⁾年ごろあくがれはてぬ者にてさぶらひつれど、⁽⁵⁾通ひ参りし齋院^{さいいん}亡せたまひなどして、いとたへがたく心細きに、この姫君の母北の方のほらから、世におちぶれて受領^{ずりよう}の北の方になりたまへるありけり、むすめどもかしづきて、よろしき若人どもも、むげに知らぬ所よりは、親どもも参で通ひしをと思ひて、時々行き通ふ。この姫君は、かく人疎^{うと}き御癖なれば、睦^{むつ}ましくも言ひ通ひたまはず。^{注6}「おのれをばおとしめたまひて、^{おもて}面ぶせに思したりしかば、姫君の御ありさまの心苦しげなるも、えとぶらひきこえず」など、なま憎げなる言葉ども言ひ聞かせつつ、時々聞こえけり。^{IV}

もとよりありつきたるさやうの並々の人は、なかなかよき人のまねに心をつくろひ思ひあがるも多かるを、やむごとなき筋ながらも、かうまで落つべき宿世^{すくせ}ありければにや、^イ心すこしなほなほしき御叔母にぞありける。^{注b}わがかく劣りのさまにて、侮^{あなづ}らは

しく思はれたりしを、いかでか、かかる世の末に、この君をわがむすめどもの使ひ人^{つかひ}になしてしがな、心ばせなどの古びたる方こそあれ、いとうしろやすき後見^{うしろみ}ならむ、と思ひて、「時々ここに渡らせたまひて。御琴^{みこと}の音もうけたまはらまほしがる人なむはべる」と聞こえけり。この侍従も常に言ひもよほせど、人にいどむ心にはあらで、ただこちたき御もの^{みもの}のづつみなればさも睦びたまはぬを、ねたしとなむ思ける。

(『源氏物語』蓬生巻による)

注1 唐守、藐姑射の刀自 それぞれ物語の作品名。

注2 ふくだめる 「ふくだむ」は、けばだつてばさばさになっている、の意。

注3 古言 ここでは、古歌の意。

注4 行ひ 仏道の修行。仏前の勤行。

注5 斎院 賀茂神社に奉仕する未婚の皇女、あるいは女王。

注6 おのれをば 姫君の母が自分(叔母)を。

注7 使ひ人 使用人。召使い。

注8 御琴の音 「琴^{こと}」は、琴^{きん}(七弦の琴)・箏^{そう}(十三弦の琴)・琵琶など弦楽器の総称。

注9 ものづつみ 遠慮深いこと。

問1 二重傍線部 a 「つつましき」、b 「なほなほしき」の現代語訳として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。(解答番号は a 13、b 14)

a 「つつましき」

- ① 危ない ② 気が引ける ③ 卑しい ④ 不愉快な ⑤ 残念な

b 「なほなほしき」

- ① 柔和な ② 控えめな ③ 堅苦しい ④ 平凡な ⑤ 煩わしい

問2 傍線部(1)「さらに馴れたまはず」の現代語訳として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 15)

- ① そのようにお考えにならない
- ② いったいこうにおなじみにならない
- ③ かえって違和感をお持ちになる
- ④ ますますおそろしくお思になる
- ⑤ 取り立てて関心をお持ちにならない

問3

傍線部(2)「せめてながめたまふ」の現代語訳として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。
(解答番号は 16)

- ① 自責の念にかられていらっしやる
- ② 無為に時間をお過ごしになる
- ③ 自然と目についてしまわれる
- ④ ひどく物思いに沈まれる
- ⑤ 丹念に御覧になられる

問4

傍線部(3)「かやうに」が指し示す姫君の暮らしぶりに関する説明として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 17)

- ① 特別な関係の恋人はいなかったけれど、「急ぐこと」がない折には、気の合う若い友人と文通して心を慰めていた。
- ② 亡くなった両親が遺してくれた財産のおかげで、由緒ある宮家の姫君にふさわしい華やかな生活を続けていた。
- ③ 『唐守』、『藐姑射の刀自』、『かくや姫の物語』といった作品の物語絵を眺めることが、時折の心の慰めであった。
- ④ 趣向を凝らして選り出した古歌を、「うるはしき紙屋紙、陸奥国紙など」に書き写すことがひそかな楽しみであった。
- ⑤ 「今の世の人」のような読経や勤行は表立ってはしないけれど、こっそり数珠を取り寄せて仏に祈る日々を送っていた。

問5 波線部ア「のみ、イ「や」、ウ「てしがな」の文法的説明として、適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。なお、同じ番号を二度選んでもよい。(解答番号はア 18、イ 19、ウ 20)

- ① 終助詞 ② 副助詞 ③ 係助詞 ④ 間投助詞 ⑤ 接続助詞

問6 傍線部(4)「年ごろあくがれはてぬ者」に関する説明として、もつとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 21)

- ① 乳母子の侍従は、姫君が零落した後も長年見捨てることなく仕えていた。
② 乳母子の侍従は、今のように零落する前は、姫君に憧れを持っていた。
③ 乳母子の侍従は、姫君と年が離れておらず付き合やすい相手であった。
④ 亡くなった斎院は、姫君にとって数年来の付き合いがある存在だった。
⑤ 亡くなった斎院は、かつて侍従と姫君の縁を取り持った人であった。

問7 破線部Ⅰ「通ひ参り」、Ⅱ「行き通ふ」、Ⅲ「言い通ひ」、Ⅳ「とぶらひ」、Ⅴ「聞こえ」のうち、主語が同じものの組み合わせを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。(解答番号は 22)

- ① Ⅰ―Ⅲ ② Ⅰ―Ⅳ ③ Ⅱ―Ⅲ ④ Ⅱ―Ⅴ ⑤ Ⅲ―Ⅳ ⑥ Ⅳ―Ⅴ

問8 傍線部(5)「姫君の母北の方のはらから」に関する説明として、もっとも適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選

びなさい。(解答番号は 23)

- ① 落ちぶれてしまった自分と交流することで、姫君が世間に対して恥ずかしい思いをするのではないか、と悩んでいる。
- ② 自分の娘をととても大切にしており、身分違いを理由に見下した態度で接する姫君のことを腹立たしく感じている。
- ③ 内気な姫君のことを気遣い、まったく知らない相手よりは良いだろう、と自分の娘とともにたびたび訪問している。
- ④ 零落した姫君の暮らしぶりを心配しつつも、受領の妻となった貧しい自分では助けになれない、と心を痛めている。
- ⑤ 受領と結婚した自分のことを姫君の母が蔑んでいたため、姫君のところに顔を出すことはできない、と語っている。

問9 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。(解答番号は 24)

- ① 姫君は、引っ込み思案な性格ではあるが、物語や和歌、音楽などに精通しているため、多くの人に慕われていた。
- ② 姫君は、人付き合いが苦手で誤解されやすい性格のため、親族の齋院や叔母、その娘などに何かと馬鹿にされている。
- ③ 侍従、姫君、叔母の娘は、仲の良い幼なじみ同士だったが、姫君を嫌う叔母によって付き合いが制限されていた。
- ④ 叔母は、身分は高いが落ちぶれた生活をしている姫君を、自分の娘の世話役として使ってやろうと画策していた。
- ⑤ 侍従は、姫君を誘う叔母の言葉は信用ならないと考え、決して誘いに乗らないようにいつも注意を促していた。

